

地域での支え合い活動に関するアンケート調査結果

地域福祉課

1 調査目的

県では、皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、地域住民の方々が互いに支え合い、助け合う活動を支援しており、今後の地域福祉推進の基礎資料とさせていただくため、このような活動に対する皆さんの意識や現状について伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター818人(郵送モニター282人、インターネットモニター536人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和5年8月4日～8月25日

回収結果: 728人(回収率89.0%)

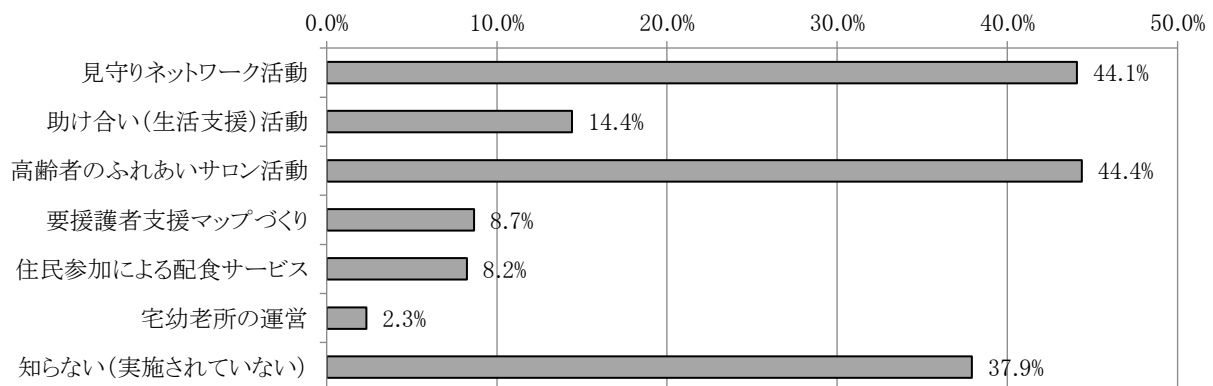
構成比はパーセントで表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

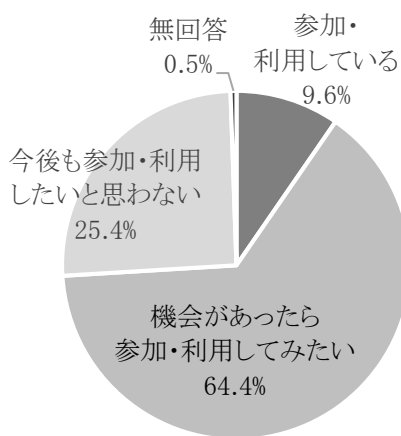
3 結果概要

○地域での支え合い活動の現状

【地域で実施されている活動】



【活動への参加状況】



【活動の継続実施のために必要なこと】(※上位3つ)

- ・活動を担う人材の確保やリーダーの育成(47.1%)
- ・活動内容などの広報・PR(21.4%)
- ・活動に対する資金的援助(12.9%)

【活動に参加しようと思うきっかけ】(※上位3つ)

- ・広報誌などによる活動内容の紹介(48.6%)
- ・活動の見学、活動へのお試し参加(44.7%)
- ・友人、知人からの勧誘(43.6%)

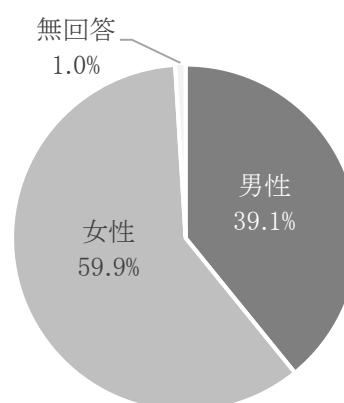
○生活する上での悩みごとや心配ごとを相談できる相手

- ・家族や親戚(86.8%)
- ・友人(58.8%)
- ・職場の上司や同僚(18.3%)
- ・地域(近所)の人(14.0%)
- ・県や市町村などの行政機関(10.7%)
- ・NPOなどの支援団体(1.4%)

4 回答者属性

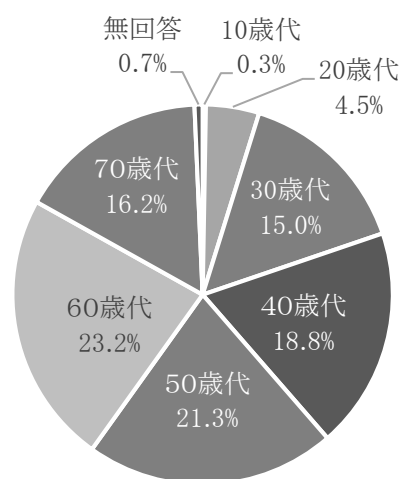
(1) 性別

	人数	割合
男性	285	39.1%
女性	436	59.9%
無回答	7	1.0%
計	728	100.0%



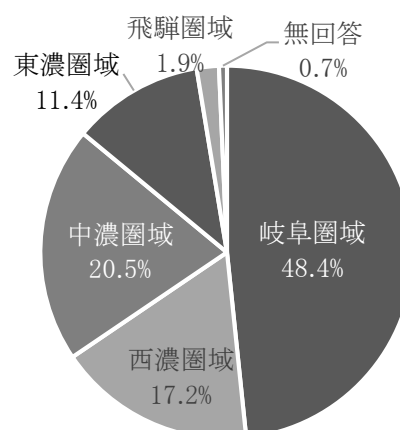
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	33	4.5%
30歳代	109	15.0%
40歳代	137	18.8%
50歳代	155	21.3%
60歳代	169	23.2%
70歳以上	118	16.2%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



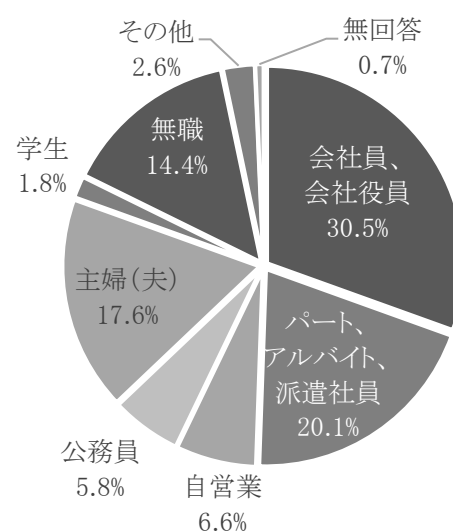
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	352	48.4%
西濃圏域	125	17.2%
中濃圏域	149	20.5%
東濃圏域	83	11.4%
飛騨圏域	14	1.9%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	222	30.5%
パート、アルバイト、派遣社員	146	20.1%
自営業	48	6.6%
公務員	42	5.8%
主婦(夫)	128	17.6%
学生	13	1.8%
無職	105	14.4%
その他	19	2.6%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



5 調査結果

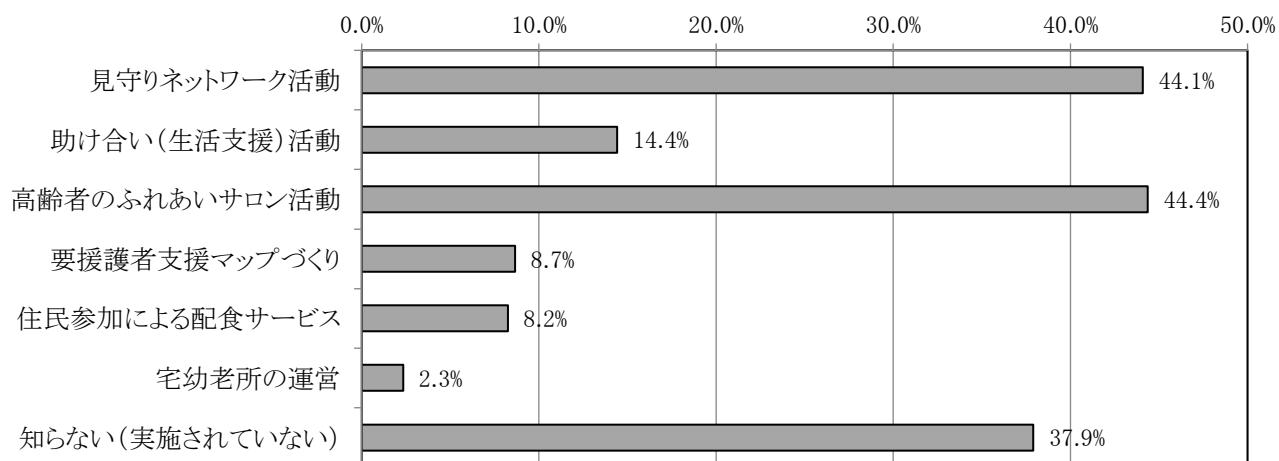
問1 県では、地域福祉の推進を図るため、地域の住民の支え合い活動(以下、「地域支え合い活動」とします。)の実施を推進しています。

あなたのお住まいの地域(自治会や小学校区など)では、どのような地域支え合い活動が実施されていますか。

(複数回答:すべて)

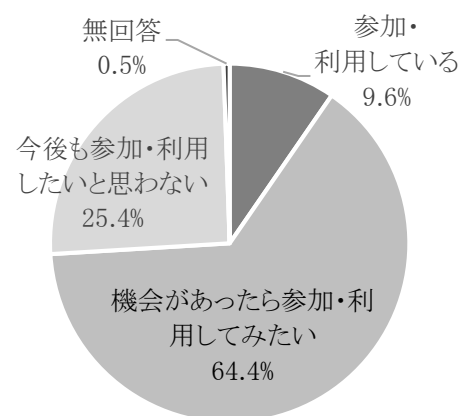
回答者 728 人

	回答数	割合
見守りネットワーク活動	321	44.1%
助け合い(生活支援)活動	105	14.4%
高齢者のふれあいサロン活動	323	44.4%
要援護者支援マップづくり	63	8.7%
住民参加による配食サービス	60	8.2%
宅幼老所の運営	17	2.3%
知らない(実施されていない)	276	37.9%
無回答	0	0.0%
計	1,165	-



問2 あなたは、問1で示した地域支え合い活動に参加または利用していますか。

	人数	割合
参加・利用している	70	9.6%
今は参加・利用していないが 機会があったら参加・利用してみたい	469	64.4%
今は参加・利用しておらず 今後も参加・利用したいと思わない	185	25.4%
無回答	4	0.5%
計	728	100.0%



問4（問2で「機会があったら参加・利用してみたい」「参加・利用したいと思わない」と答えた方）

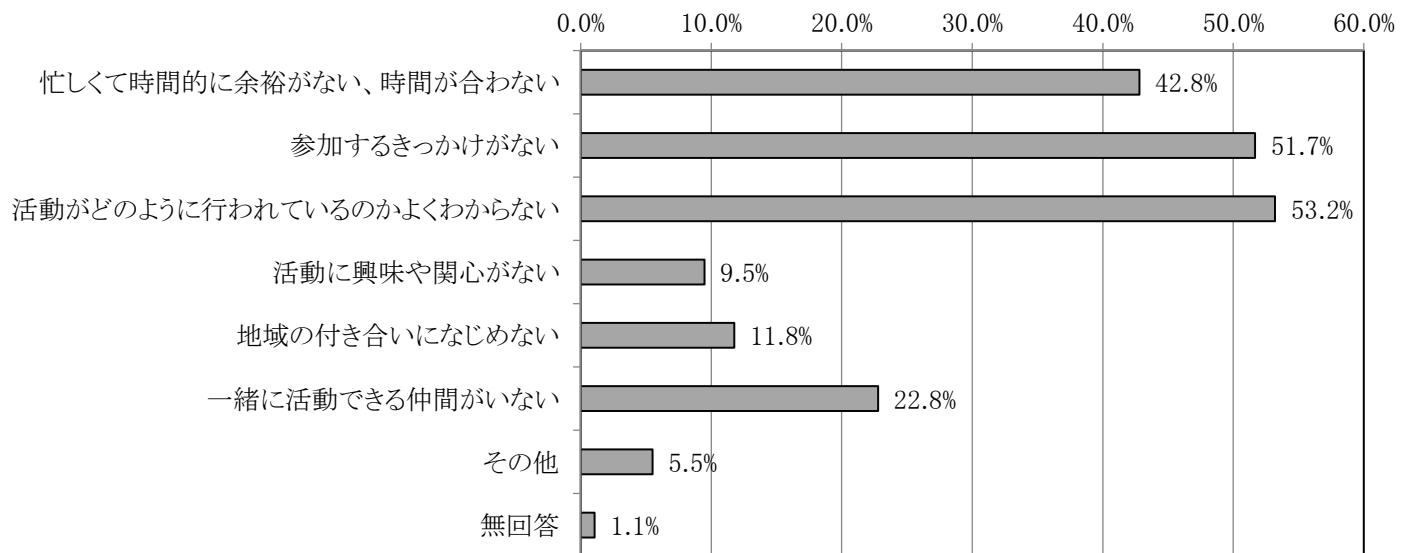
あなたが、現在、地域支え合い活動に参加していない理由は何ですか。

（複数回答:すべて） 回答者 654 人

	回答数	割合
忙しくて時間的に余裕がない、時間が合わない	280	42.8%
参加するきっかけがない	338	51.7%
活動がどのように行われているのかよくわからない	348	53.2%
活動に興味や関心がない	62	9.5%
地域の付き合いになじめない	77	11.8%
一緒に活動できる仲間がいない	149	22.8%
その他	36	5.5%
無回答	7	1.1%
計	1,297	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・健康上の理由で参加が難しい。
- ・活動場所が遠い。
- ・活動には参加していないが、近所で助け合っている。
- ・参加の必要性を感じていない。



問5（問4で「参加するきっかけがない」「活動がどのように行われているのかよくわからない」と答えた方）

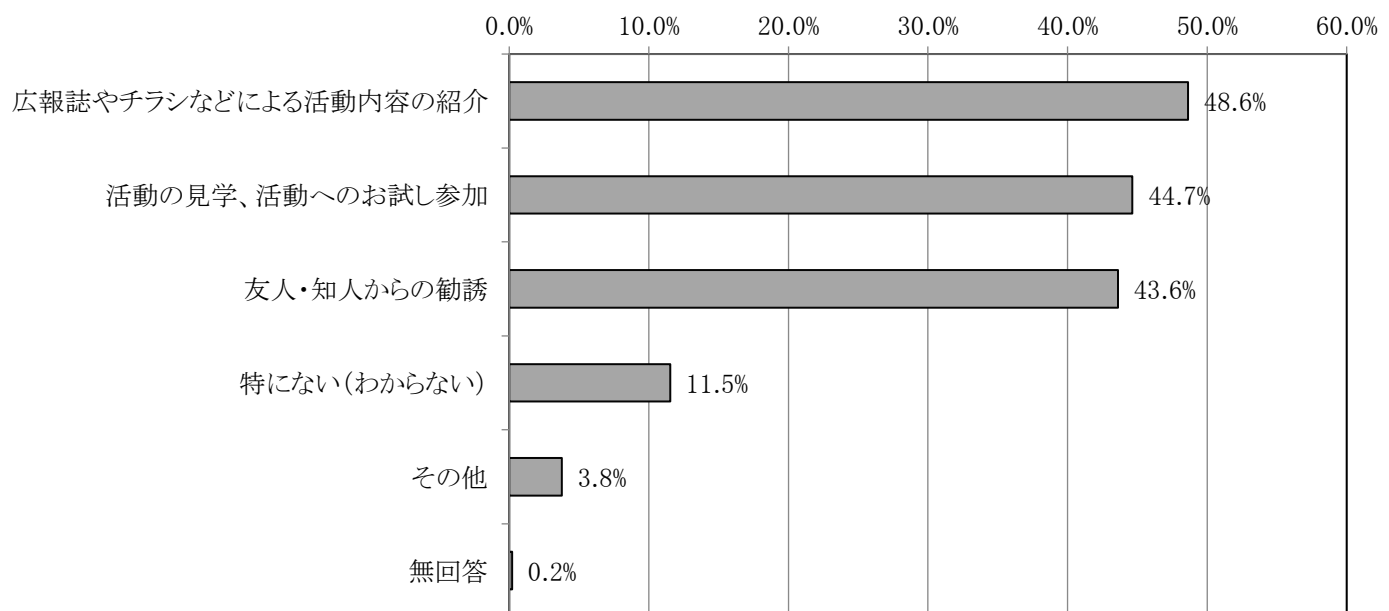
あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域支え合い活動に参加しようと思いますか。

（複数回答:すべて） 回答者 477 人

	回答数	割合
広報誌やチラシなどによる活動内容の紹介	232	48.6%
活動の見学、活動へのお試し参加	213	44.7%
友人・知人からの勧誘	208	43.6%
特にない(わからない)	55	11.5%
その他	18	3.8%
無回答	1	0.2%
計	727	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・活動のための時間的余裕ができれば
- ・自治会への入会
- ・障がい者の参加のための配慮



問6 生活する上での悩みごとや心配ごとがあった場合に、あなたが相談できる相手は誰ですか。

(複数回答:すべて)

回答者 728 人

	回答数	割合
家族や親戚	632	86.8%
友人	428	58.8%
職場の上司や同僚	133	18.3%
地域(近所)の人	102	14.0%
県や市町村などの行政機関	78	10.7%
NPOなどの支援団体	10	1.4%
相談できる相手はいない	40	5.5%
その他	14	1.9%
無回答	0	0.0%
計	1,437	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・家族や親戚以外の同居人
- ・医療の専門家
- ・弁護士
- ・市町村議会議員

